



学校紹介リーフレット

5年生の国語の学習にリーフレットづくりがあります。教科書では、「委員会活動の内容についてまとめ、4年生に紹介する」という例があげられています。

しかし、今回、5年生は委員会活動のリーフレットではなく、学校紹介のリーフレットづくりに挑戦しました。紹介する相手は新入生の保護者の方々です。

子どもたちは、自分が入学する時に保護者がどんな思いを持っていたのか、それぞれの親にインタビューをしました。すると、「ちゃんと席について授業を受けられるだろうか」「みんなと仲良くできるだろうか」「どんな勉強や行事があるのだろうか」など様々な心配や不安があることに気づきます。そこで、「心配や不安を解消する」をコンセプトとしてリーフレットづくりに取り組んだのです。

どんなキャッチフレーズが分かりやすく魅力的か、それにふさわしい活動や写真は何かなどを考えて作成しました。このリーフレットで保護者の方々によく分かってもらえるのか、グループで検討を重ねてきました。それだけに分かってほしいという気持ちも高まっています。

そして、入学説明会の時に保護者の方々に配布しました。子どもたちはちゃんと読んでもらえるかどうか、どんな感想がでるのか、とてもドキドキしていたようです。しかし、保護者の方々の笑顔や温かい感想の言葉に安心し満足していました。また、リーフレットに紹介した学校の姿をより実現させていこうとする意欲を高めたようです。

保護者の方々も、子どもたちの姿やリーフレットを見て、とても安心されてのではないのでしょうか。子どもがめざしたい学校をみんなで実現していく。そんな学校は素敵ですね。

《子どもの感想》

- ・リーフレットをわたすとき、とてもきんちょうしました。説明の最後に「字がまちがっていたらごめんなさい」と言うと、笑いながら「はい。大丈夫です。」とってもらいました。すごくほっとしました。
- ・リーフレットを読んでもらえるか心配でした。でも、一生懸命リーフレットを読んでいた姿を見て安心したし、とても嬉しかったです。
- ・キャッチフレーズを「笑顔あふれる毎日をこの城東小で」にしました。うら面の文章にも「これから新1年生といっしょに笑顔あふれる学校をつくっていきたい」と書きました。その文章を書きながら「私たちは城東小をこんな学校にしていくんだ」と考えることができました。

《保護者の方々の感想》

- ・一生懸命作ってくれてありがとうございます。小学校に行くのを少し不安に思っている息子にリーフレットを見せて、やさしいお兄さん、お姉さんがいたことを伝えたいと思います。宜しくお願いします。
- ・園から一人ぼっちで城東小へ入学します。リーフレットを読んで、朝の様子などを知ることができて、肩の荷がおりました。ありがとうございます。帰ったら子どもに、やさしいお兄ちゃん、お姉ちゃんがいたよと伝えます。4月から宜しくお願いします。
- ・表題の通り、学年に関係なく、仲良く、楽しそうに過ごしている様子が伝わりました。写真と文字のバランスもよく、上手にできたと思います。ありがとうございます。